



加 監 発 第 7 1 号
平成 2 9 年 3 月 1 3 日

加 須 市 長 大 橋 良 一 様
加 須 市 議 会 議 長 福 島 正 夫 様
加 須 市 教 育 長 渡 邊 義 昭 様

加 須 市 監 査 委 員 秋 本 政 信

加 須 市 監 査 委 員 平 井 喜 一 朗

平成 2 8 年 度 定 期 監 査 の 結 果 (そ の 1) に つ い て (報 告)

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づく定期監査を執行したので、同条第 9 項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

平成28年度定期監査結果(その1)

I 監査の対象

(小学校6校)

大越小学校、花崎北小学校、加須南小学校

鴻荃小学校、高柳小学校、豊野小学校

(中学校2校)

加須北中学校、騎西中学校

II 監査の期間

平成28年4月15日～平成29年3月13日

III 監査の範囲及び基準日

平成27年4月1日から平成28年4月30日までに執行された平成27年度及び平成28年度の財務に関する事務の執行状況並びに平成28年度の学校経営の状況

IV 監査の方法

学校の現状や財務状況を検証することを主たる目的とし、財務に関する事務の執行及び学校経営に係る事業の管理について、関係法令等に準拠し適正かつ効率的、経済的に行われ、さらに学校教育目標に向かって合理的に運営されているかについて監査を実施した。

実施に当たっては、必要な資料及び関係書類の提出を求め、事前に事務局監査を実施し、備品類等の実地確認を行うとともに、各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取して行った。

V 監査の結果

財務関係事務が関係法令等に準拠して執行されているか否かを主眼として予算執行状況、監査調書を基に照合を行った。併せて学校経営に係る事業の管理について、学校教育目標に対する効果や、経営の経済性、効率性に着眼し監査を行った。

その結果、予算の執行状況、学校経営状況等については、適正かつ効率的に執行されていたことを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

1 総括的事項

各学校とも学校教育目標及びグランドデザインを明確に定め、学校規模、校風や地域の実状等に則した努力や工夫を重ねて学校運営が行われている。また、校長のリーダーシップの下、学校における職員会議や運営委員会等においては、教職員間の情報の共有化等が図られているとともに、教職員と児童生徒が教育目標に向かって、一緒になって取り組んでいる姿が見られた。

このような中、保護者等に対しても、これまで以上に学校経営・教育目標の共通理解を図り、その結果の検証・評価を行い、よりよい学校づくりに尽力されたい。

また、多くの学校が、少子化により児童生徒数の減少が進む中、核家族化・生活様式の多様化も見受けられ、こうした変化に対応した教育行政が求められている。

各学校とも学校評議員、ふれあい推進長、学校応援団と協力・連携をより一層深め、地域密着型の教育に尽力されたい。

今後、学校施設の老朽化等により、修繕改修の増加が見込まれるため、関係部署と適宜協議しながら計画的に必要な措置を講ずるよう努められたい。

また、予算の執行に当たっては、年間の行事などの状況を的確に判断し、時機を失することなく、適正な執行をされるよう引き続き留意されたい。

加須市いじめの防止等のための基本的な方針に基づき、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、さわやか相談員などの教育相談体制を活用し、各学校、地域や家庭等が一体となり、協力体制の充実を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解消に向け尽力されたい。

さらに、学校給食費の未納問題は、各学校での取組みによって、大きな成果が得られている。今後も、新たな滞納者を作らないよう、未納解消に向けて尽力されたい。

なお、全体の学校運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

2 学校運営状況について

(1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

教職員の多忙化については、児童生徒への指導などの本来業務が優先して行えるよう、組織一体となって解消に向けた取組を推進されたい。

なお、ベテランの教職員が多く退職している中、新任教職員の育成、勤務年数のバラつきなどへの対応として、教員研修及び学習指導研究などへの参加並びに学校独自に教職員の自主研究発表会等の開催など、教職員の指導力の向上に努められている。

(2) 学校給食費等について

学校給食費、積立金やPTA会費等については、原則、保護者の金融機関の口座から引落しが行われており、その保管や取扱いについて、管理職によるチェック体制の下、執行されている。引き続き、教職員が事務処理を行った後、速やかに管理職によるチェックの徹底に努められたい。なお、パソコンによる出納データの管理を行っている学校においては、分かりやすいデータ管理を図られたい。

学校給食費の未納については、対応マニュアルに基づき、適切な債権回収が行われており、成果が上がっている。

(3) いじめ・不登校について

いじめ、不登校については、一部の学校で報告があったが、全体的には、相談体制の整備や発生時の迅速な対応等により、未然防止、早期発見や早期解消が図られていた。

なお、「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組みについては、引き続き、家庭や関係機関等と連携した教育相談や生徒指導の充実・強化を図るとともに、各学校の実情に応じた実効性ある取組を展開されたい。

(4) 学校評議員制度等地域との連携について

学校評議員制度は、自治会を始めとする地域の関係団体等の代表者で組織されており、年3回程度会議が開催されている。

その会議では、学校の経営状況や地域との交流状況などの説明、時には運動会や授業等の参観なども行われている。

これらを通じて、評議員から寄せられた様々な意見や要望が、学校経営に生かされている。

また、保護者・地域住民がボランティアとして組織する「学校応援団」は、学習活動、安全確保、環境整備など様々な場面で学校との連携が図られている。

(5) 施設管理について

学校施設(遊具や運動用具等も含む。)の安全管理については、毎日の巡視のほか、安全点検表により定期的な点検が行われているとともに、危険箇所や破損等が発見された場合には、速やかに使用の中止、修繕等が行われている。

なお、一部の学校においては、校舎の雨漏りやトイレの水漏れなど修繕が必要な箇所が見受けられたので、適切な施設の維持管理に努められたい。

(6) 児童・生徒の登下校時の安全対策について

登下校時における児童生徒の安全対策については、通学路の安全確認のほか、集団による登下校、PTAや学校応援団を始めとする地域の方々による交差点での立哨や登下校時の付添いなどが行われ、通学時の安全確保が図られている。

また、登下校以外でも、交通事故等を防止するため、子ども自転車運転免許の講習会や交通安全講習会を開催するなど、児童生徒の交通安全対策に取り組まれている。

(7) 図書について

児童生徒が、考える習慣を身に付けられるように、朝の読書タイムやお勧めの本の紹介やポイントカードなど、読書に関心を持つような創意工夫ある取組が行われている。

また、「加須市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館の充実と利用促進を図る取組も行われている。

なお、一部の学校において導入されている図書貸出システムの維持管理について、適切に対応されたい。

(8) 備品等の管理について

学校には、机・ロッカーを始めとした管理用備品や教材用備品等が数多く備えられている。それらの備品については、台帳への正確な記載や定期的な点検を実施するなど、適正な管理と有効な活用が図られている。

理科室の薬品保管庫の施錠及び鍵の管理は適正に行われ、薬品類は管理簿により管理されていた。理科室には薬品のほかにも事故につながる備品類があるので、今後も、整理整頓や施錠など保管には細心の注意を払われたい。

なお、一部の学校においては、長期間使用していない備品や使用期限を過ぎた薬品類が見受けられたので、廃棄等を含め取扱いを検討されたい。

3 各学校の個別的事項について

大越小学校 児童数 76 人（学級数 6 学級）

- ・ 一人一人の子どもが活躍できる場を設定し「認める・誉める・励ます」教育に取り組み、児童の自主的・実践的な態度「気づき・考える・実行する」の育成に努められている。今後も、小規模校の特徴を最大限に生かした、きめ細やかな個に応じた教育に尽力されたい。
- ・ 児童の少人数による学年合同の林間学校や修学旅行など、創意工夫ある取組を行っている。なお、今後も児童数の減少が見込まれ、登下校班の編成、学級運営や教職員体制等さまざまな課題が生じてくるので、今後の学校運営のあり方について検討されたい。
- ・ 伝統ある校訓「三健五気」の「三つの健康（頭・心・体）」と「五つの気（やる気・勇気・元気・本気・根気）」の精神を受け継ぎ、よりよい伝統と独自性を自らの強みとされたい。

花崎北小学校 児童数 349 人（学級数 15 学級）

- ・ 学校経営のグランドデザインに、3S「スピード、スマイル、スピリット」の合言葉を加え、よりよい学校づくりを目指し、教職員の理解と協力を得て学校運営に前向きに取り組まれている。
- ・ 学力向上に向け「ひとり学びノートコンテスト」などにより、基礎的・基本的な学力と応用力を育て、一人一人が学習内容を確実に理解するきめ細かい指導に努められている。また、学校の特色の一つである「五・七・五タイム」では、全国的な俳句大会において優秀な成績を収められ、児童の自信と向上心の育成が図られている。
- ・ 教職員と保護者を始め地域とのコミュニケーションについて、鋭意努力されており良好な関係を築かれている。また、地域の各自治会に「花崎北小みまもり隊」の委嘱と活動時の腕章を配布し、安心安全応援団とともに、様々な活動が行われている。今後も、家庭や地域との絆を深めながら信頼される学校づくりとともに、学校応援団の新陳代謝を図り地域人材の確保に努められたい。

加須南小学校 児童数 219 人（学級数 9 学級）

- ・ 学校、家庭、地域の連携がよく取られ、保護者、ふれあい推進長、学校応援団など地域全体に支えられている。学校、家庭、地域の絆「チーム南小」という教育力により、学校教育目標「豊かに学ぶ」の実現と「きらりと輝く南の子」の育成を目指し、校訓「全力者美也」を旗印しに、児童と教職員が何事にも一途に、全力で教育活動に取り組まれている。引き続き、児童一人一人の個性を伸ばし、意欲があり、全力で頑張る力を育成する学校づくりを推進されたい。
- ・ 最大の特色である「地域の方が常駐し、ともに教育を推進する学校」として、ふれあい推進長が校舎内のいきいきステーションに常駐し、学習ボランティア、校内の環境整備、登下校の見守り、教育活動に対する評価や相談など行っている。また、学校応援団やPTAとも連携を図った各種活動を行っており、今後も、地域相互の絆をさらに深められたい。

- ・ 児童、保護者、教職員が同じ方向を向いて学習する取組として、連絡帳や家庭学習ノートを個別にせず、全てを1つにまとめた「生活記録・自主家庭学習ノート」を活用し、児童が書き込んだ内容を保護者及び教職員が互いに目を通す学習が行われている。

鴻荃小学校 児童数 141 人（学級数 7 学級）

- ・ 「羅漢槓」、「こうのとり」、「宮沢章二と二宮金次郎」の3つをシンボルとして掲げ、地域密着型の教育、夢や目標をもち学びを高める教育、心の教育を目指し「一人の百歩より、百人の一步のために」の教育を実践している。
- ・ 学校経営方針を明確に示され、教職員の基本姿勢として「創意ある改善、熱意ある指導、誠意ある対応」を掲げ、教職員の資質向上に努められている。また、児童の学力向上「UP タイム」の実施や、日課表を工夫し児童と教職員のふれあい・絆の構築など、創意工夫ある教育指導に取り組まれている。
- ・ 電話回線の問題と図書貸出システムの維持管理については、関係部署と協議しながら適切に対応されたい。

高柳小学校 児童数 170 人（学級数 7 学級）

- ・ 経営方針の一つとしてキーワード「つなぐ」と夢を実現するための三つの鍵「き（基礎基本）れ（礼儀）い（命）」を掲げ、教職員の理解と協力を得て「子どもの良さを伸ばし、地域に信頼される高柳小学校」づくりに取り組まれている。
- ・ 基礎学力の定着と確かな学力の向上策の一つとし、言語感覚を磨く俳句の指導に取り組み、各種の俳句大会において優秀な成績を収められ、児童の自信と向上心の育成が図られている。
- ・ 学校区が広く、交通安全や防犯等が懸念されるが、下校時の安心安全の確保については、引き続き、PTA、学校応援団等地域と連携を密にし、児童の安全を図られたい。
- ・ PTA会費等の出納について、パソコンで適正なデータ管理がされているが、担当者不在時でも、管理者が適宜チェックができるよう工夫されたい。

豊野小学校 児童数 108 人（学級数 7 学級）

- ・ 学校名をいれた学校教育目標「**と**もだちと仲よくできる子、**よ**く考え進んで学習する子、**の**びのびと明るくたくましい子」と、校長の学校づくりの想いが込められたグランドデザインにより、よりよい学校づくりを目指し、教職員の理解と協力を得て学校運営に取り組まれている。
- ・ 学校像「元気 活気にあふれ 生き生きと魅力ある学校」を目指し、5本の柱「明るいあいさつ」、「確かな学力」、「伸びる体力」、「奏でる金管」、「地域との連携」教育を重点的に実践されている。
- ・ 児童の減少による通学班編成の課題があるが、PTA、学校応援団を始め地域との協力等で安全が確保されている。引き続き、地域と連携した諸活動を行うなど、児童が地域を愛し、地域に誇りを持つ教育を推進されたい。

加須北中学校 児童数 123 人（学級数 5 学級）

- ・ 経営方針「秩序と活気に満ち、みんなの笑顔が輝く学校」を目指し、生徒の学校生活の基本姿勢のスローガン「凡事徹底」、「正々堂々」を掲げ、また、教職員の教育指針「凡事徹底」を示し、生徒の規律面の指導が行われている。
- ・ 校訓「我立志於此」我ここにおいて志を立つに則り、立志作文、学年立志宣言の発表など「第 1 回立志の集い」を開催し、生徒像「自信と誇りをもって行動する生徒」を実践されている。
- ・ 全日本学校緑化コンクールにおいて、文部科学大臣賞を受賞するなど緑化に関わる学習を取り入れ緑化活動に取り組まれている。また、自然環境の観察ができる「ビオトープ」を活かした触れ合いある学習が展開されている。引き続き、魅力ある授業の充実と指導法の工夫・改善に尽力されたい。

騎西中学校 生徒数 570 人（学級数 18 学級）

- ・ 生徒指導に努められ、生徒を取り巻く環境が改善されている。今後、学校経営方針「社会に通用する生徒の育成」を目指し、引き続き、学校環境の維持向上を図られ、学力向上を始め生徒の自己実現のため尽力されたい。
- ・ 不登校の問題があるが、組織を生かして「チーム騎西中」一丸となって、生徒の健全育成に向けた教育相談活動等を着実に実践され、問題の解決に取り組まれている。教職員の合言葉「凡事徹底」と「危機管理のさしすせそ（最悪を考え・慎重に・素早く・誠意をもって・組織で対応）」で、学校の課題について取り組まれたい。
- ・ 東日本大震災による原発事故の影響から避難されている双葉町ほか福島県内からの生徒に対して、今後も引き続き配慮されるとともに、いじめが起こらないよう、今後も学校全体で取り組まれたい。